

美琴 Generative AI FW V2.2.3 リリースノート

1. はじめに

美琴 powered by cotomiにて機能するGenerative AI FW V2.2.3（以下、Generative AI FW）のリリースノートです。

1.1. 対象バージョン

Generative AI FW のバージョン情報は以下の通りです。

確認対象	バージョン
チャット画面	build 202603100240
管理ポータル	build 202603120752

バージョンの確認手順は後述の「参考：バージョンの確認方法」を確認してください。

2. リリース内容

2.1. 動作環境

2.1.1. OSSの最新化

Generative AI FWで使用するOSSを脆弱性に対応するために最新化しています。特に重要な脆弱性は現時点（2026年3月時点）ではありませんが、以下に示す識別子の脆弱性に対応しております。

OSS	脆弱性の識別子
Keycloak	CVE-2026-1486 、 CVE-2026-1486
PostgreSQL	CVE-2026-2003
MongoDB	CVE-2025-14847

2.2. 新機能

2.2.1. 図表文脈理解オプションの追加

Generative AI FW 図表文脈理解オプションが追加されました。図や表を含むPDF文書や画像をRAGで使用する際にLLMが理解できるテキスト形式に変換できる機能を提供します。図表文脈理

解機能は管理ポータル画面のインデックスへの文書登録画面から利用可能です。

- ⚠️ • 図表文脈理解機能はFC-S13Gの機種のみ対応しております。T110k-Mについては対応していません。
- 図表文脈理解機能はAIを使用するためハルシネーションが発生する可能性があります。
- Generative AI FWは図表文脈理解とサーバ同居する構成（単一サーバ構成）の場合、図表文脈理解機能を起動している間はLLMの諸元が制限されます。図表文脈理解機能を停止している間は制限されません。図表文脈理解機能の起動・停止は切り替えることができます。

2.2.2. 監査ログのダウンロード機能

監査ログを管理ポータル画面からダウンロードする機能が追加されました。取得期間やログ種別を指定して取得することが可能です。

2.2.3. チャット画面での対話パラメータの設定の追加

チャット画面の対話パラメータの設定に「検索で使う文書数」が追加されました。文書検索を利用した会話を使用する際に検索された文章の上位何件を元に回答作成するかを指定できます。

2.3. 機能強化

2.3.1. 管理ポータル機能のテンプレート一覧の検索条件強化

管理ポータル画面のテンプレート一覧画面での検索条件にテンプレートIDが対応しました。これによりテンプレート対話APIを使用する際にテンプレートIDを条件にして検索し、テンプレートの内容などを編集することが可能になります。

2.3.2. ベクトルDB管理APIの検索APIの絞り込み条件強化

ベクトルDB管理APIのチャンク検索APIや文書一覧取得APIの検索条件にメタデータが対応しました。これにより文書登録時に指定した文書のメタデータで検索することが可能になります。

2.3.3. Markdown形式ファイルの文書検索精度改善

インデックスに登録できる文書のうち、Markdown形式のテキストファイル(.mdが拡張子のファイル)の検索精度を改善しました。これによりMarkdown形式ファイルに対する検索対話（チャット画面での文書検索を利用した会話）の回答精度の改善が期待できます。



検索精度を改善するにはアップデート後にインデックスに対象ファイルを再登録する必要があります。

2.3.4. チャット画面のテンプレート選択表示仕様改善

従来はチャット画面には管理ポータルに登録されたテンプレートのうちユーザにアクセス権が表示されるものが全て表示されていましたが、以下のように表示仕様を改善しました。これにより、チャット画面利用者に使用できないテンプレートが表示されるのを防ぐことができます。

- ・システムテンプレートのうち「システムテンプレート（翻訳）」「システムテンプレート（要約）」はテンプレート対話API専用のテンプレートのためチャット画面には表示しない
- ・システムテンプレートのうち「システムテンプレート（検索対話）」についてはチャット画面で文書検索を利用した会話を利用時のみ選択できる
- ・システムテンプレートを引用して作成したユーザテンプレートについても上記仕様が継承される

上記以外の仕様については従来通りから変更ありません。

2.4. 機能変更

なし

2.5. バグ対応

2.5.1. カスタム認証連携時の管理ポータル画面でのログインユーザ操作制限

カスタム認証の外部IdP連携時にログインユーザの削除操作や役割の変更操作ができないように修正しました。

また、ログインユーザの表示名に日本語が使われている場合にログイン後のユーザ名の表示が文字化けする問題も合わせて改善しています。

参考：バージョンの確認方法

対応バージョンの確認方法は以下の通りです。

i HTTPSに既定では自己証明書を使用しています。その場合「この接続ではプライバシーが保護されません」と注意が表示されますが、問題ありませんので接続してください。

- ・チャット画面

1. Webブラウザを立ち上げ以下にアクセスします。アクセス先はGENAI_DOMAINで指定した値になります。

https://<GENAI_DOMAINの指定値>/

2. 画面右下に記載しているbuild番号を確認します（以下の赤枠）。



- 管理ポータル

1. Webブラウザを立ち上げ以下にアクセスします。アクセス先はGENAI_DOMAINで指定した値になります。

https://<GENAI_DOMAINの指定値>/admin

2. 画面右下に記載しているbuild番号を確認します（以下の赤枠）。

Generative AI 管理ポータル

[ログイン](#)

